

Ⅱ. 沖縄総合事務局管内における感染症拡大で浮き彫りとなった企業の課題とその対応 —紹介事例①—

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い買い物代行需要が急増、アプリ開発による迅速なサービス提供により解決

CBcloud (株)

(本社) 東京都(支社: 沖縄県、大阪府)  
 (資本金) 17億7千万円 (従業員数) 80名  
 (業種) 情報通信業

(事業内容) 物流の負を打破するプロダクト ~「届けてくれる」にもっと価値を。日本中のドライバーの社会的地位を高める~

- ・PickGo: 荷主とフリーランスドライバーを直接つなぎ、多重請負構造を解消する配送マッチングプラットフォーム  
 →登録ドライバー-全国20,000名超 24時間365日当日配送可能、ANACARGOとも業務提携し緊急配送の世界で空路-貫輸送サービスを実現
- ・SmaRyupost: 宅配事業者向けの宅配効率化システム、SmaRyuTruck: 配車管理、請求書作成等の運送会社の管理者、ドライバーの業務をデジタル化効率化する業務支援システム  
 ⇒日本郵便との提携 (全国約200局の郵便局で導入) や、SoftBankと連携し業務支援システムを組み込んだ専用端末を訴求力のある価格で提供など



—感染症拡大で浮き彫りとなった課題—  
 ・新型コロナウイルス感染症の影響のもと、必要不可欠な買い物が一層困難な状況に

—「PickGo 買い物 (代行)」サービスを導入—

- (20年4月27日サービス開始、同年9月30日サービス内容拡充)
- ・アプリで注文、指定の場所に配送パートナーが即日お届け
- ・自宅、仕事、家事や育児の隙間時間に効率よくオーダー
- ・お届け先から半径20km圏内、食品や生活用品、家具や家電など車でないといけないものも即日ご自宅まで配送可能

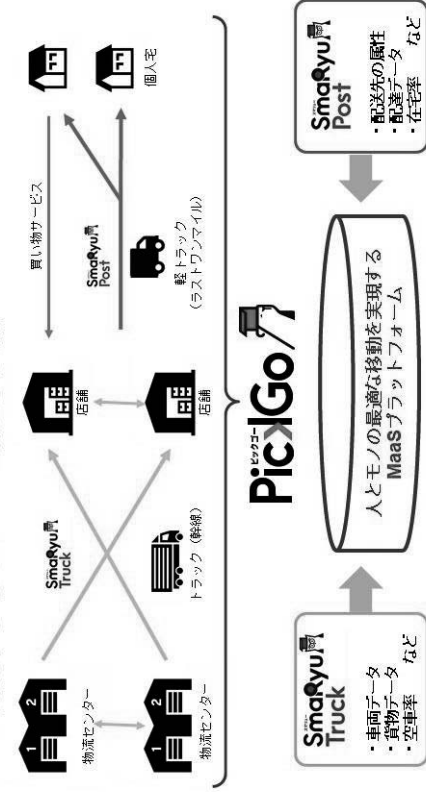
● 大阪府、東大阪市、富田林市と連携協定を締結

・IT技術の学び (教育分野)、農産物の魅力発信等 (スポーツ・文化・産業分野)、移動に関する課題解決 (都市・環境分野) などの分野で支援し、地域活性化に貢献

● 沖縄での展開

・2020年4月に支社設置、今後サービスを拡大し、テクノロジーの力で人とモノの最適な移動を実現し、沖縄の渋滞など地域課題を解決するMaasプラットフォームの実現、IT人材など沖縄の教育分野での貢献を目指す

CBcloudが実現する『人とモノの最適な移動』



II. 沖縄総合事務局管内における感染症拡大で浮き彫りとなった企業の課題とその対応 一 紹介事例②一

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い国内需要が急減した小ロット・高付加価値生鮮品を輸出拡大

(株) 萌す

(本社) 沖縄県糸満市  
(資本金) 4百万円 (従業員数) 4名  
(業種) 地域商社

(事業内容)

- ・2015年に会社設立、沖縄の鮮魚・野菜・和牛などの生鮮品をシンガポール、タイ、香港、台湾などへ輸出  
⇒貿易に必要な書類作成業務をシステム化、沖縄から全国の産地証明書類を作成することが可能に
- ・2020年にコロナ禍の中、感染拡大で激減した日本各地の生鮮品を適正価格で買取りシンガポールのネットスーパーに輸出拡大  
⇒沖縄の鮮魚を小ロットで輸出しているノウハウが評価され、シンガポール・ネットスーパー大手から日本の高付加価値生鮮品等の取り扱いの依頼を受ける

一 感染拡大で浮き彫りとなった課題等 -

【県内・国内】

- ・海産物、畜産物、野菜などの小ロット高付加価値のホテル、飲食店向け生鮮品等の需要が激減、単価も下落
- 【海外・シンガポール】
- ・感染拡大により政府が外出自粛を要請したことからネットスーパー需要が大きく増加

一 需要が激減した生鮮品等を適正価格で買取り輸出 -

- ・鮮魚 (沖縄) ・和牛 (岩手)
- ・野菜 (沖縄、大分、熊本、宮崎、高知、山口、兵庫、長野、群馬、秋田、北海道ほか)

(百万円) 一 シンガポールへの輸出の伸び(累計輸出額) -



地図データ ©2020 Google

● 今後の展開 (沖縄からアジアへの輸出を更に拡大し地域の持続可能性の向上に貢献)

- ・「貿易に必要な書類作成業務のシステム化」を基盤とし、(大手商社が扱わない) 小ロット・高付加価値生鮮品をアジアに最も近い沖縄から輸出拡大し、地域の生産者の所得・持続可能性の向上に貢献